

# 丹精込めた花 笑顔広げる

「花育」の成功を喜ぶ長和さん(中央)とスタッフ(撮影・福井宏史)



## 医療法人せのがわ「花育」初参加

安芸区の医療法人せのがわが「プロジェクト花育」にこしわは、市民が育てた花を持ち初めて参加した。約3万1千鉢が並ぶ平和記念公園近

くのブー스에3日間立ったは、同法人が運営する「デイ精神保健福祉士の長和洋光さん(中央)は、花を見た人たちの笑顔に目を細めた。市内の三つの障害者施設と合同で就職支援ブー스의「会場へ見に行きたい」と決めた際、FF企画

実施本部に参加を促された。利用者の気持ちに安らぎ、交流のきっかけにもなるかも」と、法人内で相談したうえで参加を決めた。同本部から受け取ったベ

チニアの苗約240本けた。

「花育」皆さんがこんな前向きになるとは想定外。来年もぜひやりたい」と長和さん。来場者を出迎える「大役」を果たした花々に、優しいまなざしを向けた。

(永里真由)

障害者の就職  
協力呼び掛け

平和公園ブロックでは、広島市の市民団体「障がい者就職サポーター」が、障害者の手作り品を販売するブー

スを初めて開いた。

ラスクとせつけん、ハーブの苗を各1000円で販売。女性を中心に人気を集めた。障害者の雇用に関する知識を問うアンケートも実施し、就職への協力を呼び掛けた。中区の高校1年佐々木優衣さん(15)は「障害者が安心して働ける環境づくりについて考える必要がある」と話していた。

同団体は3月に発足。多くの人が訪れるFFで障害者の社会進出に対する理解を広めようと、準備を進めてきた。

# 育む

# 喜び